

とき の す
時ノ寿の森通信

<http://outdoor.geocities.jp/tokinosunomori/>
E-mail: tokinosunomori@yahoo.co.jp
＜連絡先＞掛川市倉真 7021 (TEL・FAX 0537-28-0082)

2015 夏号 NO. 34

2015. 6. 27 発行

NPO 法人 時ノ寿の森クラブ

2015.6.27 現在の会員数 : 正会員・賛助会員合わせて153人(法人9・個人144)

- ★ ごあいさつ P 1
- ★ お知らせ P 2～4
- 事務所移転のお知らせ
- 時ノ寿の森クラブ・スタッフの紹介
- 子山羊が生まれました
- ★ ブログで見る近況 P 5～9
- 4月22日「森づくりの未来を予感」
- 5月 6日「山羊がつなぐ山と海の交流」
- 6月13日「植樹祭に市内外から1100人参加」
- 6月17日「山羊が地域を結ぶ」
- 6月20日「森林へ道を拓く」
- 6月21日「地道に木を植える」
- ★ 編集後記 P 9
- ★ 別紙
- 「7～9月活動予定表」 「らんだ庵だより」

ごあいさつ

間伐された時ノ寿の森には、タマアジサイやハナイカダ、イロハモミジやヤマザクラが自生し始め、かつての豊かな姿に戻りつつあります。また、昨夏能登半島からやって来た山羊たちは、厳しい自然界の中で生死のドラマを繰り返しながら5匹の子を出産し、愛くるしい子山羊たちによって、森を訪れる魅力が広がっています。

人口が都市に集中する一方で、全国の山里が荒廃していますが、どんな文明社会が来ようとも、国民が豊かな暮らしを創造するためには、時ノ寿のような自然が国土の津々浦々に残っていなければいけないと思います。

当クラブは、9年前、時ノ寿の森を荒廃森林の再生モデルにしようと活動を立ち上げ、「近者悦ばば 遠者来る」を理念とした森林保全活動に対し、市内外の様々な方々より御支援をいただき、ふる里の森林にもう一度「いのち」が蘇ろうとしています。今春には、この活動に共感した若者たちが、スタッフとして手伝いたいと集まって来てくれました。

豊かな森林を未来へつなげるためには、現代を生きる私たちが森との共生をエンジョイすることこそ、最も大切なことではないかと確信いたします。会員の皆様ご自身が、時ノ寿の森の豊かな恵みを体感されますよう願っております。

向こう3か月の行事でも、会員をはじめ社会の多くの皆様が時ノ寿の森へお越しいただけますよう企画してみました。今夏は、ぜひ時ノ寿の森へお越しください。はじめの一步は、来る7月5日(日)の親睦バーベキュー大会です。ご家族でご参加ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

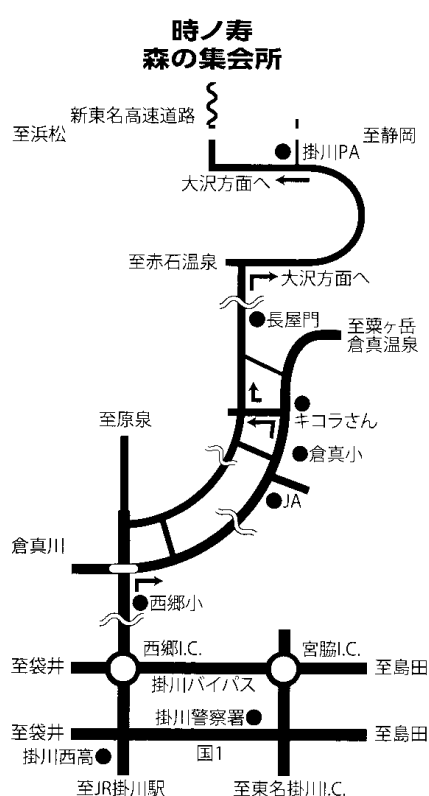
2015年6月27日

理事長 松浦 成夫

事務所移転のお知らせ

6月初旬より、事務所を下記の場所へ移転いたしましたのでお知らせいたします。

新しい事務所は、昨年7月にオープンいたしました、森の集会所の一室です。春から事務局スタッフも増え、心新たに「森づくりを通じた安心安全で活力あふれる地方都市づくり」に励む所存でございます。



森のカフェ「らんだ庵」の営業日は土・日・月曜のみですが、それ以外の日も定休日の火曜以外は基本的に事務局スタッフが常駐しております。活動日以外の日もお気軽にお立ち寄り頂き、思い思いに時ノ寿の森で過ごして頂ければ何よりです。

—新事務所—

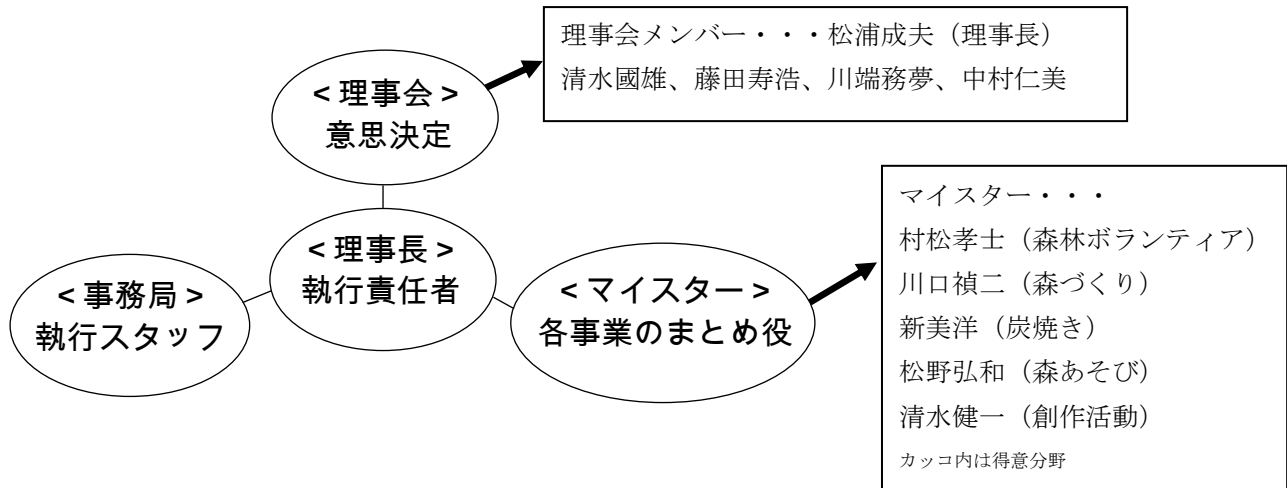
住所：〒436-0341 静岡県掛川市倉真 7021

TEL/FAX：0537-28-0082 (火曜定休)

mail:tokinosunomori@yahoo.co.jp

時ノ寿の森クラブ スタッフ紹介

時ノ寿の森クラブは今年度より下記の図のような体制で運営しております。



今回は、日々理事長の手足となって動く事務局スタッフを紹介させていただきます。

1年前にオープンした森の集会所の café スタッフに加え、

この春から新たに3名の事務局スタッフと、インターン生が加わりました。

 事務所スタッフの紹介 は私がさせていただきます	 「安心安全なご飯を食べて欲しい」という熱い思いを胸に、美味しいご飯と美しいしつらえ、とびきりの笑顔で来てくれた人をお迎えしています。森の集会所内のcafé「らんだ庵」の営業担当。 児玉
 鳥・虫・動物、自然が好きで、東京で専門的に学んだ後、野鳥の会に勤務。今年2月に生まれ故郷の掛川にUターン。鳥の声が聞こえたら、彼に聞くと声の主の名前を教えてください。主に林道整備などの体力仕事担当。 大石	 山の中に暮しながら、生きる技術を着々と体得中。狩猟免許所持。今年は銃に加えて罠猟の免許も取るようです。普段は寡黙ですが、動物と子ども相手だと優しい笑顔。大石と同じく体力仕事担当。 筒井
 現役大学生。就活の合間を縫ってインターンで手伝いに来てくれています。専攻は空間デザインだそうで、絵も上手！いつもニコニコ笑顔といじられキャラで場を和ませてくれています。 近藤	 長い間東京で勤めた後、3年前に掛川に越してきて去年から山暮らし中です。街の人と山がもっと繋がったら楽しいだろうなあという妄想を実現したい日曜大工女子です。主に経理・庶務担当。 平山

子ヤギが生まれました

2015年5月15日、時ノ寿の森で子ヤギが2頭生まれました。1年前に能登半島からはるばるやってきた、モリ（♂）とアンズ（♀）の子です。

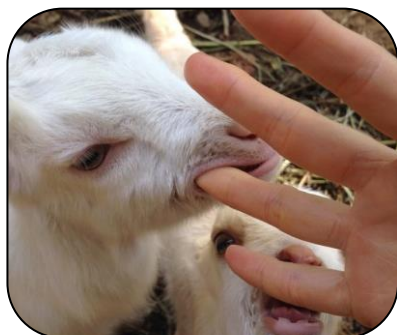
残念ながら、お母さんのアンズは、2頭目の出産時に胎盤がうまく排泄できず、翌朝命を落としました。2頭の子ヤギは毎日寄り添いながら、時ノ寿スタッフたちからミルクをもらい、すくすくと成長しています。

長い間名前を募集していましたが、先日ようやく決定しましたのでお知らせします。



5月～6月に、モリとサクラが市内の下僕てくてく倶楽部さんへ里子として時ノ寿の森を巣立っていきました。これで、残る5頭（クウ、ヤマ、ロン、サツキ、イワ）は全員時ノ寿の森生まれのヤギたちです。

特にオスヤギに関しては、交配の関係上、里子に出すことにしています。ヤギを飼いたい方がいらっしゃいましたら、是非事務局までご連絡ください。



↑ミルクが欲しくて指を吸います。育ての親が人間なので、とても人懐っこいです。

↓左に居るのは2月に生まれたヤマ。こうしていると親子のよう。ヤギの成長はとっても早いです。



↑少し前までは、たまに脱走して気づくと集会所の入り口からこちらを見ていました。

ブログで見る近況

森づくりの未来を予感 2015 年 4 月 22 日

今夜、県内のトップを切って掛川市役所で「未来への森づくりタウンミーティング」が開かれました。未来を守るためには、今、森を保全していくことが欠かせないとの想いを強くする地域住民が、会場にあふれるほど集まりました。参加者からは、切れ目なく1時間30分の間、県政に対して森づくりの大切さと、森を保全するための積極的施策の必要性が強く訴えられました。

時ノ寿の森クラブ会員も、男女合わせて30名以上が参加してくれ、意見を述べてくれました。中でも、20代と30代の会員男女の発表「私は、森との共生をしたくて昨年末から山村暮らしを始めました。参加しているNPO活動を発展させていくために、県の森づくり事業に興味を持ったので、具体的に教えてください。」との質問、「今日のテーマである未来への森づくりを支えるためには、僕のような若い世代の参加が必要です。そのための人づくりを、ぜひお願いしたい。」との意見には、未来の時ノ寿の森クラブを予感しました。



山羊がつなぐ山と海の交流 2015 年 5 月 6 日

今日は子供の日。毎年のように15歳以下の人口比が下がっていく日本の子どもたちが、強くたくましく成長して欲しいと願い、各地でイベントがありました。わが掛川市の千浜地域では、臨済宗・永福寺の住職さんと奥様の粋な計らいにより、境内は縁日のように、本堂は音楽堂のように華やかな子供まつりが行われていました。

海に近い千浜地域から内陸へ30数kmも離れた時ノ寿の山からは、子どもたちが元気に成長してくれることを願って、時ノ寿山羊牧場の子山羊3頭が出張しました。クウ♂・ヤマ♀・ロン♂は子どもたちに大人気でした。



植樹祭に市内外から 1100 人参加 2015 年 6 月 13 日

遠州灘に面した掛川市沖之須地区の海岸防災林に、市内外から 1100 人が集まってくださり、好天のもと盛大な植樹祭が開催されました。遠くは山口県、仙台市からも参加してくださいました。

先人が築いた砂山は、松枯れ状態でハゲ山になっていましたが、今日の植樹祭によって、3 000 m²を超えるハゲ山に、土地本来の広葉樹 10500 本（クロマツ 500 本を含む。）が植えられました。その光景は壮大で、これこそが市民協働によるまちづくりのモデルと自信を強くしました。

1100 人の参加者が、たった 1 時間余の間に 1 万本を超す植樹を実施してしまうのですから、すごい市民力だと思います。そして、その市民力を先頭に立って率いる我が時ノ寿の森クラブ及び連携企業の植樹リーダーたちの雄姿も圧巻でした。

行政による防災対策に、市民力が結集してこそ、自然の脅威に立ち向かう本物の防災力になり得るのではないかと確信しました。

参加してくださった市内外からの皆様、そして植樹祭に苗木を寄贈してくださった皆様に心から感謝を申し上げます。



山羊が地域を結ぶ 2015 年 6 月 17 日

昨年 7 月上旬、能登半島の穴水町から山羊がやって来ました。これまで 1 年間に、山羊たちは能登半島と時ノ寿を大いに交流させてくれました。まさに地域を結ぶ親善大使です。

先月、時ノ寿から♂山羊のモリくんが、市街地郊外の里山再生活動をしている市民グループへ養子に出しましたが、今日はその♂山羊のところへ♀山羊のサクラちゃんが嫁入りしました。

地域交流の親善大使として 2 匹が新たな門出をした時ノ寿の山羊牧場ですが、5 匹の元気な若い山羊たちがみなさんの来訪を待っています。中でも、生後 1 ヶ月の 2 匹の子山羊は、人間の粉ミルクで育ったせいか、人間にとっても懐いています。まだミルクを欲しがりますが、スタッフたちの努力が実ってようやく野生の餌付けに成功しました。この頃は、草を食んではピーナッツ上の良い糞をコロコロとするようになりました。



森林へ道を拓く 2015 年 6 月 20 日



昨日と今日、二日間にわたり県中遠農林事務所主催による林道作設研修が時ノ寿の森を会場に開催されました。わが N P O 法人を含む管内の森林組合や林業事業体企業から若手精鋭の山師たちが参加し、40 度を超える急傾斜へ作業道を作る技術を熱心に学びました。天竜地域で林業事業体として 25 年のキャリアを持つ講師の天竜フォレスター今井氏も、時ノ寿の地形に作業道を切り拓くのは極めて難易度が高

いといわれていましたが、講師の素晴らしい経験と技術、そして参加者の熱心な取り組み姿勢により、厳しい地形に作業道約 50 m が作られました。

今日は雨中での研修でしたが、みなさんお疲れ様でした。林業や森林保全活動に青春を賭ける20～30歳代の素晴らしい諸君、この出会いを今後も生かしていきましょう。



地道に木を植える 2015年6月21日

6月21日日曜日雨。多くの人が雨音を聞きながら1日の時間がゆったりと過ぎてゆくことに幸せを感じたのではないのでしょうか。

梅雨の真ただ中、しとしとと降る雨は私たち日本人の心をやさしく癒してくれるのです。こんな日には、まさに晴耕雨読の世界に身を置くのが作法と言うものかもしれません。しかし、わが時ノ寿の森クラブの会員たちは、雨にも負けず、掛川市内沖之須地域の海岸防災林に集まってくれました。

会員の他、浜松市や愛知県からも共感して来てくれた時ノ寿ファンの方々など総勢18名が、2年前の3月に植樹した沖之寿植樹地の補植作業をしました。補植の苗木は、静岡県立農林大学校から寄贈約400本、豊橋市の濱ご夫妻から寄贈約100本。寄贈いただいた方々にここから感謝申しあげます。



< 編集後記 >

事務局スタッフ平山です。今回、理事長と一緒に通信の編集を担当させて頂きました。今後も編集を担当する予定なので、どんな通信にしていこうか私なりに考えていたのですが、会員みなさまの声も載せて、楽しい紙面にできたらなぁと思いました。時ノ寿の活動の感想や、山や森に関すること、季節のお便りなど、事務局まで写真や文章をお寄せ頂けたら嬉しいです。郵送でもメールでも結構です。また、Facebook でも日々の時ノ寿の活動をアップしています。是非見てみてくださいね。

先日、街から私が住む山の家近くに犬の散歩に来る方に、たくさんのプラム頂きました。お砂糖と一緒に煮たら、とても綺麗な色のジュースが出来ました。残りをジャムにして、お礼に渡したいなぁと思っています。山に越してから、自然の恵みと人の繋がりを感じる日々です。<平山>

今号もお読みいただき、ありがとうございました！